

将来を見据えた基町地区のまちづくりビジョン

「多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち」

多様な世代が共存する基町

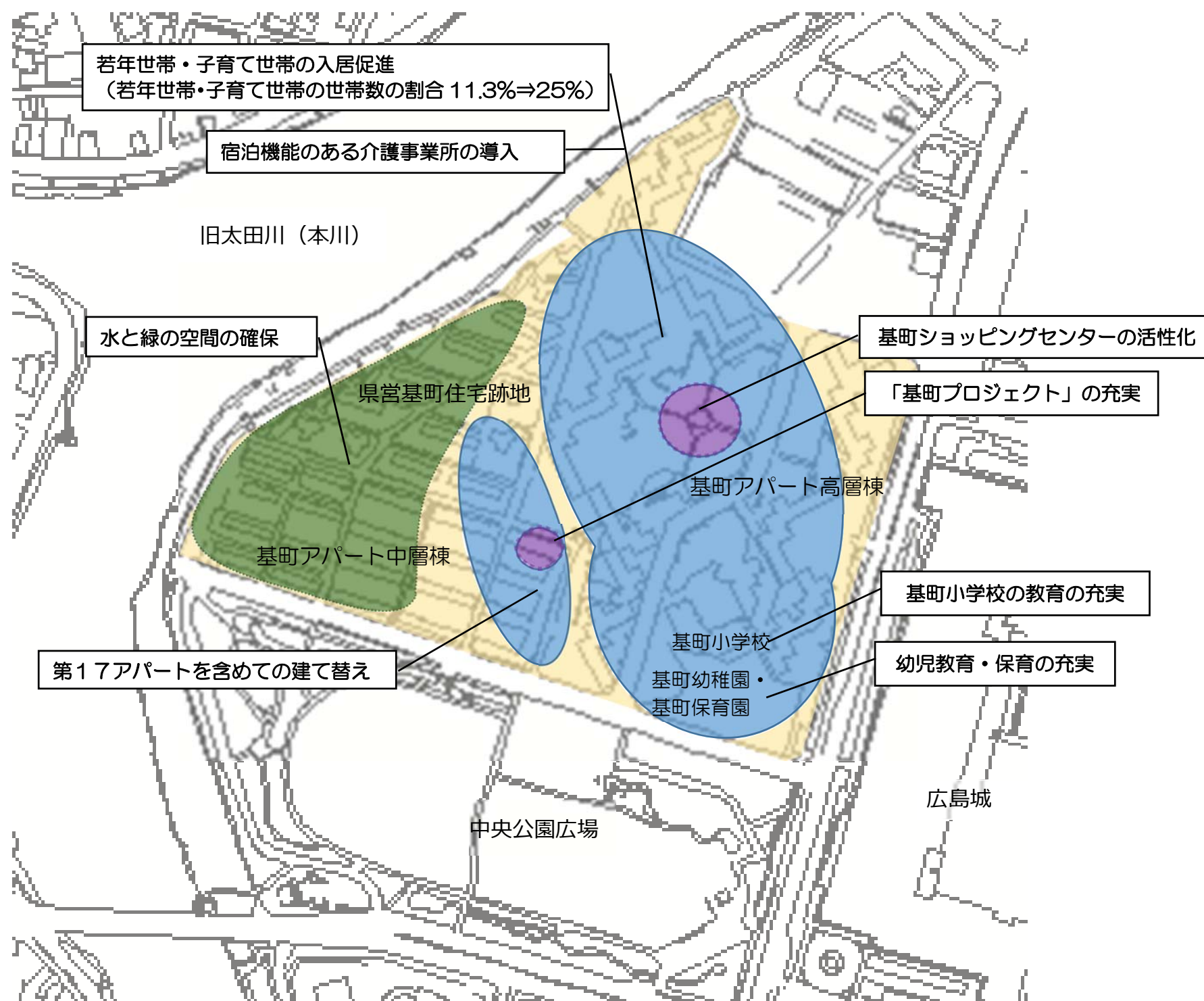
- 1 多様な世代が暮らすまち
- 2 教育環境が整い、子育てしやすいまち
- 3 高齢者が安心して暮らせるまち

住みやすい基町

- 4 潤いのある魅力的なまち
- 5 多様な文化が交流できるまち

にぎわいの基町

- 6 地域の交流が活発なまち



将来を見据えた基町地区のまちづくりビジョン

基町地区の将来を見据え、地区住民と広島市とが共に目指す将来像を、「多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち」と位置付けます。

このビジョンに基づき、地区のまちづくりを進めることにし、平成31年度に改定を予定している基町住宅地区活性化計画に、ビジョンの実現に向けた必要な取組をしっかりと位置付けていきます。

将来像：多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち

多様な世代が共存する基町

1 多様な世代が暮らすまち

若年世帯や子育て世帯の入居を促進し、多様な世代で構成されたコミュニティを形成します。

地域活動の担い手となるよう学生を含む若年世帯入居を増やすため、平成34年度までに55戸の特例的な入居を進めています。

現在の、基町アパートの全世帯数に対する若年世帯・子育て世帯の世帯数の割合11.3%を25%（広島市域における割合）まで増やし、多様な世代で構成されたコミュニティを形成することを目指します。

2 教育環境が整い、子育てしやすいまち

今後、子どもの増加が見込まれる基町小学校において、地区住民の皆様の協力のもと、子どもたちが個に応じた確かな学力を身につけることができる教育環境を整備します。また、幼児教育・保育環境についても充実し、子どもたちが元気よく育ち、子育てしやすいまちにします。

保育園、幼稚園、小学校、児童館等が計画的に整備された特性を生かし、基町小学校では、「多文化共生教育の実施」や「個に応じた指導研究校」としての基礎的学力の向上、「幼・保・小の連携の拠点」としての隣接する幼稚園・保育園との連携、交流を進めています。

また、「ほのぼの文庫基町」において、県立広島大学の学生や学習支援者による宿題などの支援や工作やゲームなどの交流が行われています。

今後、基町小学校では、放課後学習を含めた学力補充の一層の充実や児童一人一人の習熟度に応じた少人数指導などによる丁寧な教育環境を整備するとともに、基町幼稚園・基町保育園では、小学校への円滑な接続、地域の子育て相談などの幼児教育・保育環境を充実させ、子育てしやすいまちにします。

3 高齢者が安心して暮らせるまち

宿泊機能を持つ介護事業所が整備され、親子近居できる環境が整った、高齢者が安心して暮らせるまちにします。

高齢者が基町地区で安心して暮らしていくことができるよう、これまで、基町ショッピングセンターへ地域包括支援センターやデイサービスセンターの設置を進めてきました。

今後、小規模多機能型居宅介護や短期入所生活介護（ショートステイ）など宿泊機能を持つ介護事業所を導入します。

また、親世帯とその親を介護する子供世帯が近居できる環境が整い、高齢者の見守りネットワークなどが充実した、高齢者の誰もが住み慣れた基町地区で安心して暮らせる、自助、共助、公助が揃った地域共生社会の実現に取り組みます。

住みやすい基町

4 潤いのある魅力的なまち

旧太田川に面する県営基町住宅跡地を有効に活用し、中央公園に連なる水と緑を生かした広大な空間を確保し、潤いのある魅力的なまちにします。

県営基町住宅跡地は、当面、オープンスペース（開放広場）として活用します。

今後、旧太田川に面するこの住宅跡地と中央公園とが一体的につながる水と緑の空間を確保します。

そのため、市営基町アパートの中層棟（第1～17アパート）については、これまで、本市の市営住宅全体の再編・集約化を考える中で、今後検討することにしていましたが、この度、まちづくりビジョンの素案を提示するのを機に、建て替えについて、高層棟の活用や県営基町住宅跡地の一部活用を視野に入れて検討します。

なお、第17アパートの建て替えに当たって、現入居者に必要な住宅戸数の確保と若年世帯の入居を促進する仕組みの導入を進めるとともに、地区住民の集会施設や地域に必要な機能の導入を図ります。

5 多様な文化が交流できるまち

外国人と日本人とが、互いの生活習慣や文化の違いを認め合った上で理解し合い、尊重しながら交流するまちにします。

外国人の割合が高い当地区において、市営住宅への入居時の説明や配布資料の充実、相談体制などを整備し、日本での生活習慣への理解を促します。

また、基町小学校で多文化共生教育を実施するなど、外国人と日本人とが、互いの文化の違いを認め合った上で理解し合い、尊重しながら交流するまちを目指します。

にぎわいの基町

6 地域の交流が活発なまち

「基町プロジェクト」を充実させるとともに、基町ショッピングセンターについて、店舗として、また、出会いや交流の場として魅力的でにぎわいのある施設にします。

「基町プロジェクト」として推進している、若者が中心となった広島市立大学との連携による文化芸術活動や地域交流などの活動を、より幅広く展開します。

また、建築後40年以上が経過し、空き店舗が多くにぎわいが低下している基町ショッピングセンターについては、入店者の方々の意向や住民の皆様の意見を伺いながら、活性化につながる施設改修や入店者募集を進め、住民の皆様にとって利用しやすい店舗が揃い、景観面でも魅力的で、にぎわいのある施設にしていきます。

特に、ショッピングセンターの中央の広場付近にある店舗については、地域包括支援センターやほのぼの基町のような、地区住民が気軽に相談し、集まることができる公益的施設など、出会いや交流の場として活用します。